

植栽管理状況について

植栽委員長 精松 誠

長期植栽管理計画の目指すもの

2022 年度に作成された長期植栽管理計画は、「四季を彩る緑豊かなシーアイハイツ和光」を実現するために、豊かな緑の保全/快適性、安全性の向上/魅力アップの推進により、一定の植栽管理費の下、団地の資産価値を維持向上し住環境との調和を目指しています。

長期植栽管理計画に基づき、昨年度と同様に、今年度の植栽管理計画は作成され、実行しています。

植栽管理で考慮していること

- ・ 景観/美観
- ・ 安全性（倒木・枝落ち・高圧電線接触などのリスクの回避）
- ・ 緑の保全
- ・ 樹木による生活被害（日照の妨げ・樹木からの樹液・鳥のフンなど）

樹木が大木化・巨木化/密集化している

シーアイハイツ和光は、開発時に植栽帯に多めの苗木を配置することにより、緑豊かな団地を目指しましたが、40年を経過し、当初植えられた樹木の中には、クスノキやケヤキのように大木化・巨木化している高木が現在約 100 本あり、これらの樹木や込み入った樹木・茂りすぎた樹木に要する管理費用は、将来的に増加してゆくことが予測されます。



樹木の成長は植栽管理費の増加を伴う

年々樹木は成長していきませんが、剪定費用は樹木の大きさ（幹周り・高さ）によって金額が増加するので、数年に 1 回の剪定では、剪定費用は増加し続けることが予測されます。また、最近の人件費増加・物価高騰は、植栽管理費の増大要因として懸念されます。

増加が懸念される植栽管理費への対処

緑豊かな団地を維持するために必要な樹木に対して、重点的に費用をかけてゆくことにより、植栽管理費の増加の抑制/削減を実行していくことがのぞまれます。

最後に

彩のある団地エントランス（サミット前）を目指し、ハナミズキ等の補植を現在検討しています。今後とも植栽管理についてご理解・ご協力をお願い申し上げます。

